

消防団が年末警戒を実施 －町長らが団員を激励－

12月25日(木)から6日間にわたり、日高町消防団による年末警戒が実施されました。

初日のこの日は、松本町長をはじめ小宮副町長、野田議長、田端消防団長らが警戒にあたる団員らを激励するため、3分団それぞれの待機所を訪問しました。

松本町長は「これからは火災の危険が高まる季節です。活躍するような事態にならないのが一番ですが、万一火災があっても、すぐ対応できるよう、気を引き締めて警戒に当たってください」と激励。

団員らは、早速消防車に乗り込み、地域の巡回に出動していました。



新年初出動

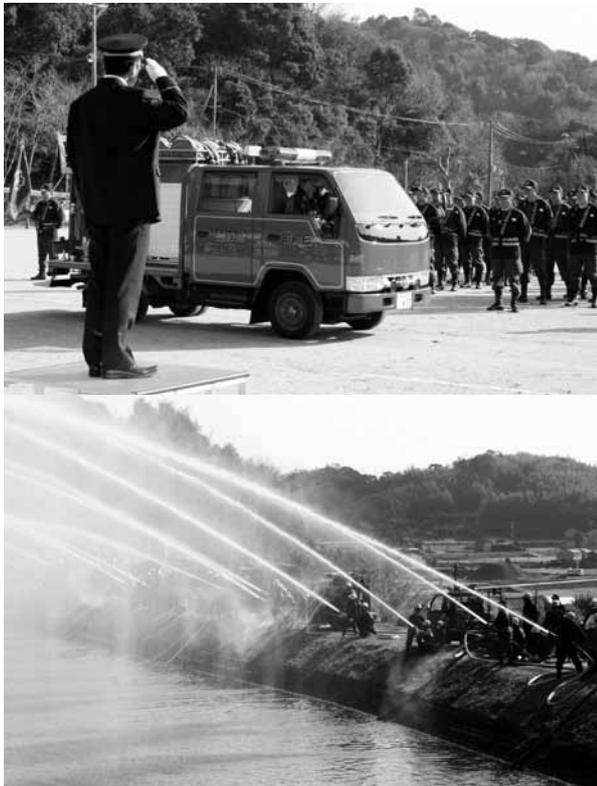
－消防団が出初式を挙行－

1月5日(月)、若もの広場で町消防団出初式が厳粛に執り行われました。

出初式には、消防団員と婦人防火クラブ員計121人、各分団に配備されている消防車両12台が参加し、入場行進して整列。国旗を掲揚し、全国の殉職者に黙祷を捧げたあと、10年・20年・25年勤続となる団員が表彰され、退団者に感謝状が贈られました。

また、松本町長が「町といたしましても、防災力の向上のために、行政と地域が一体となって、災害に対して最善の努力ができるような、素晴らしい日高町を目指していきたいと考えております。どうか、みなさま方におかれましては、我が町の消防防災のさらなる発展と、町民の安心・安全な生活を確保するために、より一層のご支援とご協力をいただきますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます」と式辞。来賓祝辞のあと、田端消防団長の先導で、団員と消防車両を観閲しました。

式典後、奥山池に移動した団員らは車両を並べて一斉放水訓練を実施。放水技術の習得に努めました。



日頃の練習の成果を発表！ —内原保育園児らが生活発表会—

12月6日(土)、町農改センターで内原保育所(尾崎和代所長)の生活発表会が開かれました。

会場の舞台の前は、カメラやビデオカメラを構える保護者で満席の状態。

演奏、ダンス、演劇などの演目で、園児らは手作りの衣装を身にまとい、元気いっぱいに日頃の練習の成果を発表。かわいい姿に、会場からは大きな拍手が贈られました。

